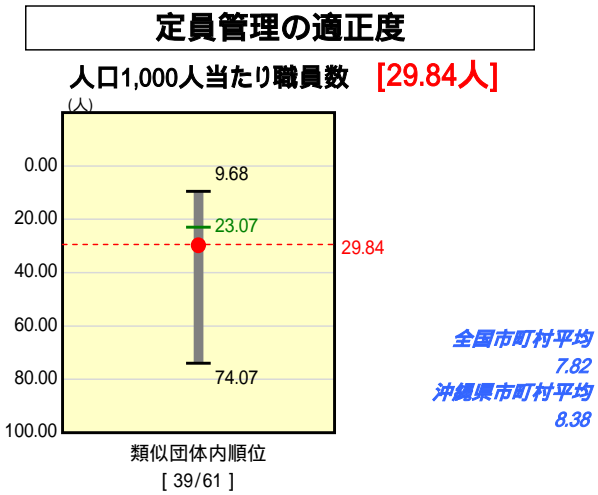
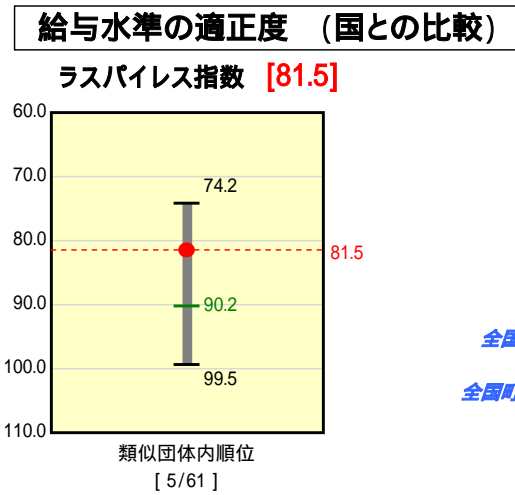
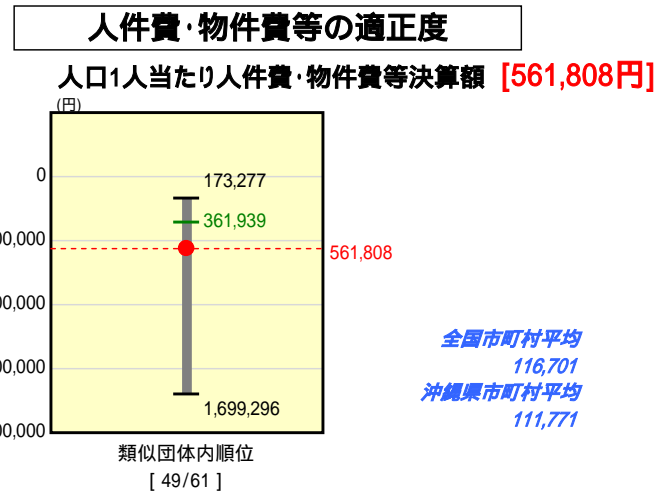
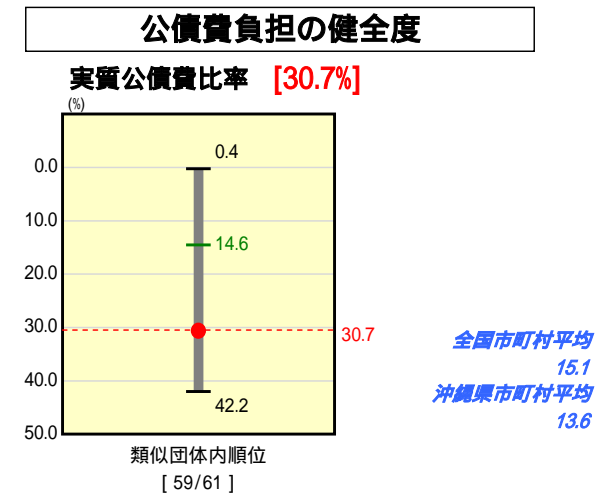
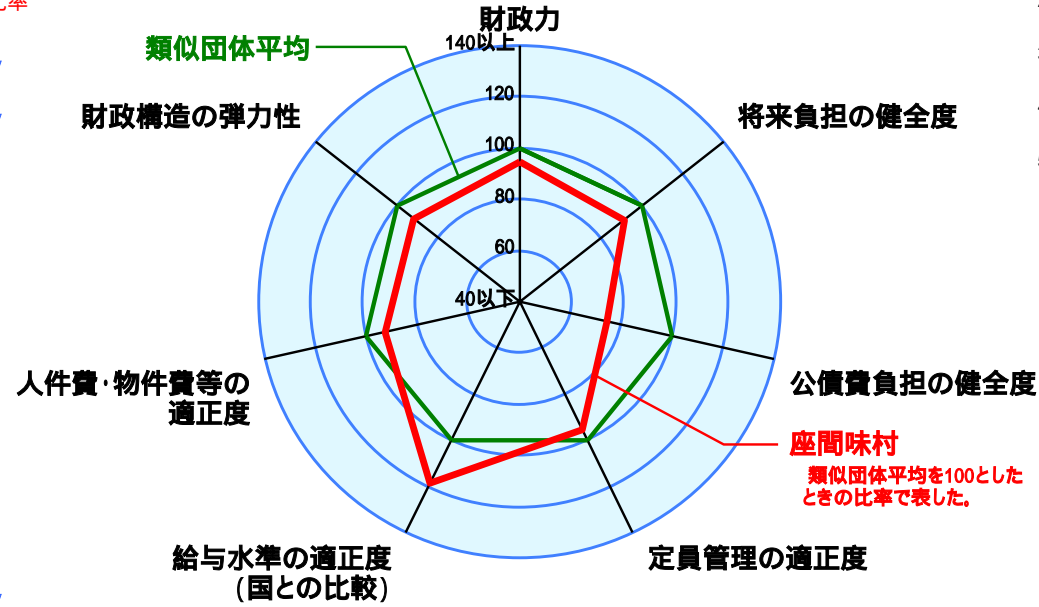
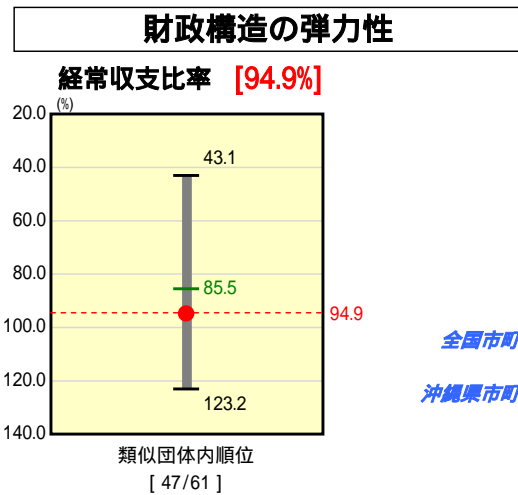
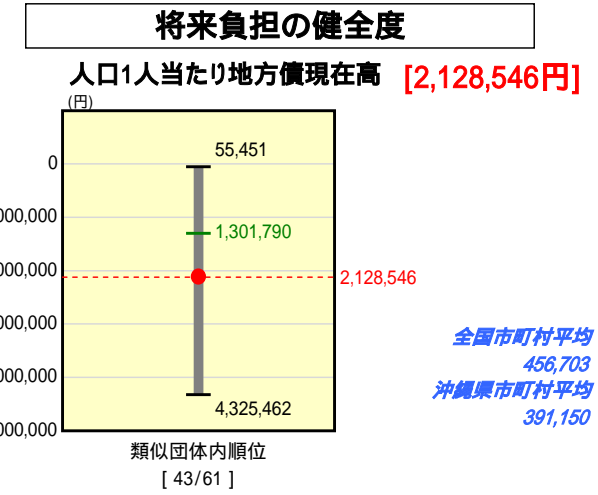
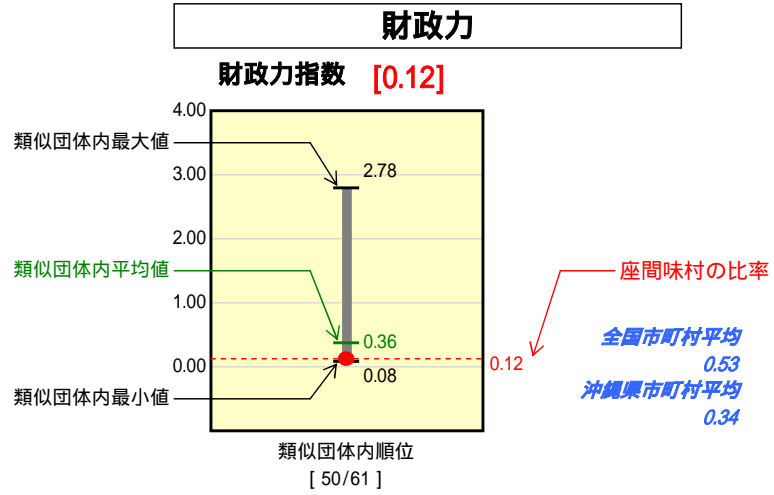


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

沖縄県 座間味村

人口	1,039人	(H19.3.31現在)
面積	16.74	km ²
歳入総額	1,397,251	千円
歳出総額	1,374,343	千円
実質収支	19,551	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数: 類似団体と比較すると、低い水準にあるが、近年は上昇傾向にある。これは観光関連施設の新築等によるものであるが、徴収率の更なる向上(5年間で3%)等による増収増加等による歳入の確保に努める。

経常収支比率: 退職者不補充(平成18年度3人減)や特別職給与の削減(7%)等により人件費により人件費(36%)や公債費においては多少改善されたものの依然として類似団体平均を上回っている。「集中改革プラン」に沿った行政改革への取組を通して義務的経費の削減に努める。

ラスパイレス指数: 実施済みの給与削減等により類似団体の中では低い水準にある。今後は各種手当等の見直し等を更に行い更なる給与の適正化に努める。

実質公債比率: 類似団体を大きく上回る30.7%となっている。その要因として、本村は3つの有人島で構成されており簡易水道事業・下水道事業の整備を各島ごとに行ったことや、平成7年度以降に行った公共事業(ゴミ処理施設整備事業等)に伴い多額の地方債を発行したことによるものである。平成18年度に策定した「公債費負担適正化計画」に基づき事業の優先度の明確化や自主財源の確保に努め、財政の健全化を図る。

人口1人当たりの地方債残高: 3つの有人島で構成されている本村は各島ごとに簡易水道・下水道の整備を行う必要があるが、また平成7年度以降大規模な事業が数年間つづいたため類似団体と比較して高い水準となっている。平成18年3月に策定した「公債費負担適正化計画」に基づき、財政の健全化に努める。

人口1,000人当たり職員数: 県管理の空港やダムがあり職員の配置が必要であるが、近年新規採用・退職者不補充により、平成18年3人の職員の削減を行ってきたところである。今後も事務事業の見直し等により適正な定員管理に努める。

人口1人当たり人件費、物件費等決算額: 人件費・物件費等において、類似団体と比較すると高い水準にある。これは主に物件費を要因としている。「集中改革プラン」に基づき、抑制していく必要がある。